

2008年度 決算説明資料

株式会社太陽工機

2009年5月7日

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、主に以下のものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

決算概要

増収・増益・利益率向上

■ 予定通りの順調な決算

- 売上高 前年比9.8%増の7,106百万円
大手企業を中心に堅調に売上伸長
- 営業利益 前年比27.5%増の1,010百万円
(営業利益率 前年比2.0%ポイント増の14.2%)
- 経常利益 前年比34.8%増の990百万円
(経常利益率 前年比2.6%ポイント増の13.9%)
売上高の増加に伴う増益に加え、
採算性の高い機種種の納入による利益率の向上

■ 受注: 厳しい受注環境下でも健闘

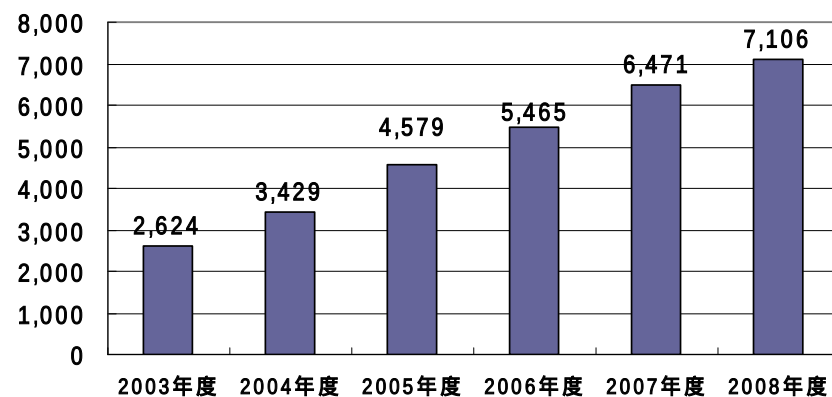
- 受注 前年比 33.0%減の4,786百万円
景況悪化による需要先の投資計画の見直しが影響
今後の回復期に備え、新機種・加工技術の開発にリソース集中

損益計算書 (P/L)

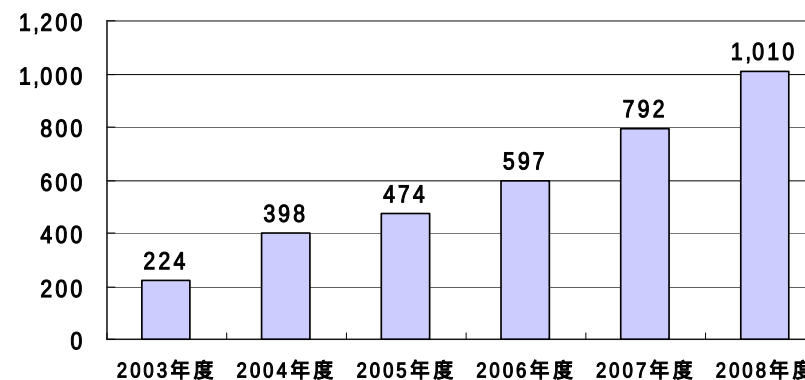
(百万円)	2007年度	2008年度			
	実績	計画	実績	対前年比	計画達成率
売上高	6,471	7,500	7,106	9.8 %増	94.7 %
営業利益	792	1,050	1,010	27.5 %増	96.2 %
(売上高比率)	12.2%	14.0%	14.2%	+2.0%ポイント	—
経常利益	734	1,030	990	34.8 %増	96.1 %
(売上高比率)	11.3%	13.7%	13.9%	+2.6%ポイント	—
税引前利益	732	—	991	35.4 %増	—
当期利益	430	600	554	28.9 %増	92.3 %

業績の推移

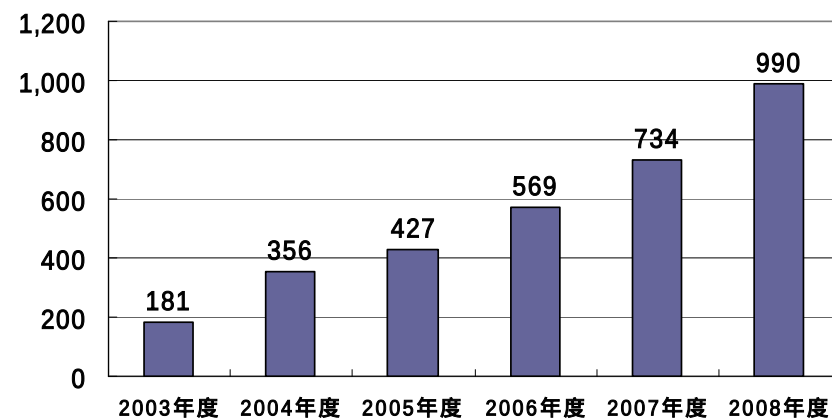
売上高



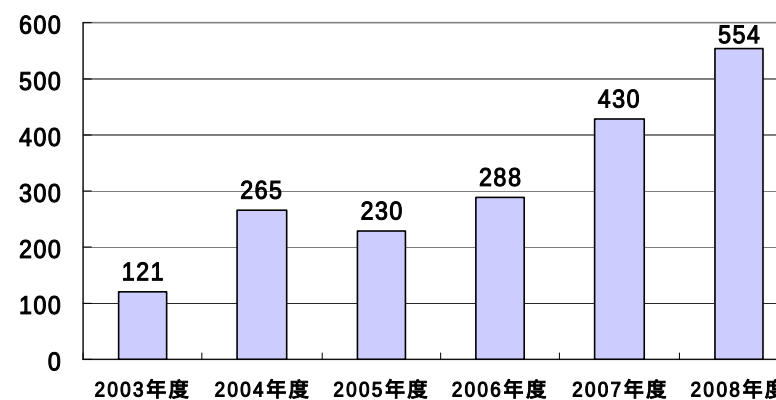
営業利益



経常利益



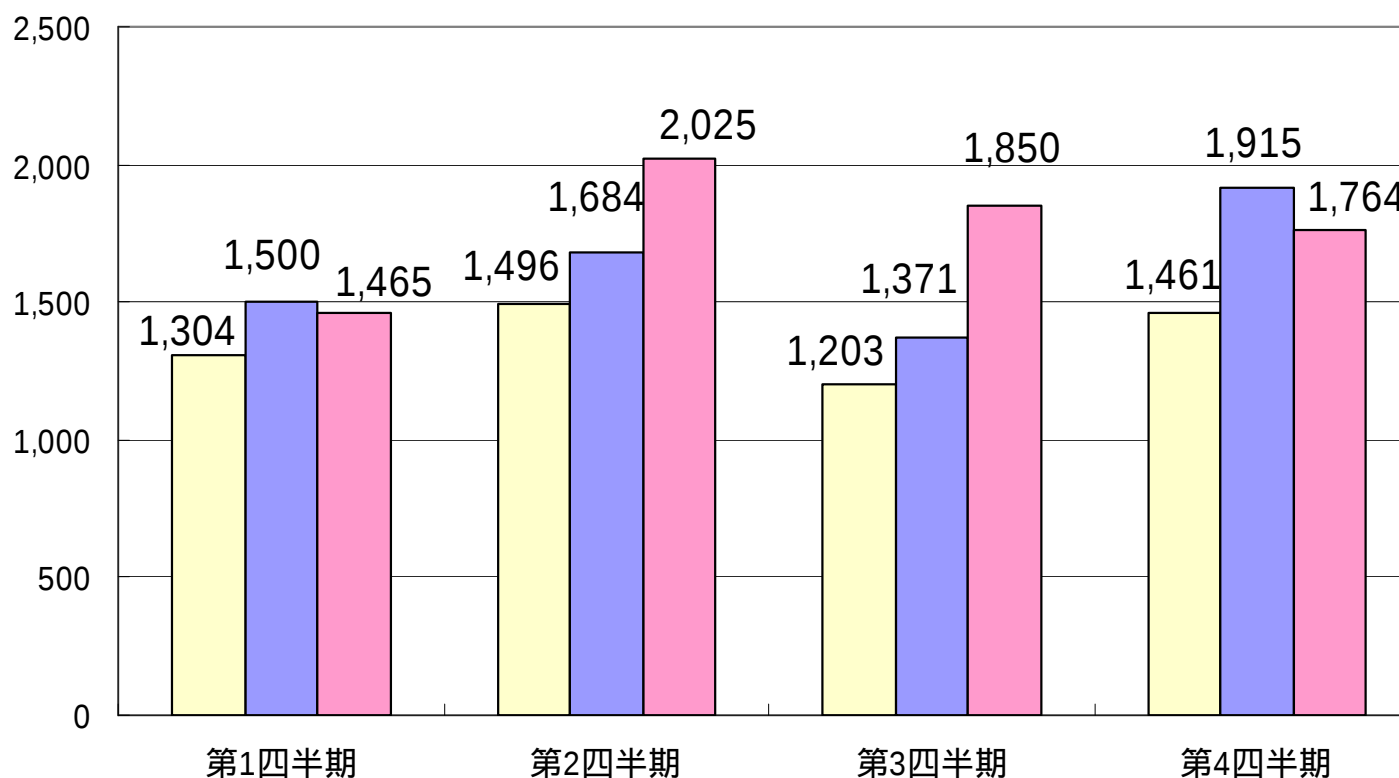
当期純利益



売上高(四半期別推移)

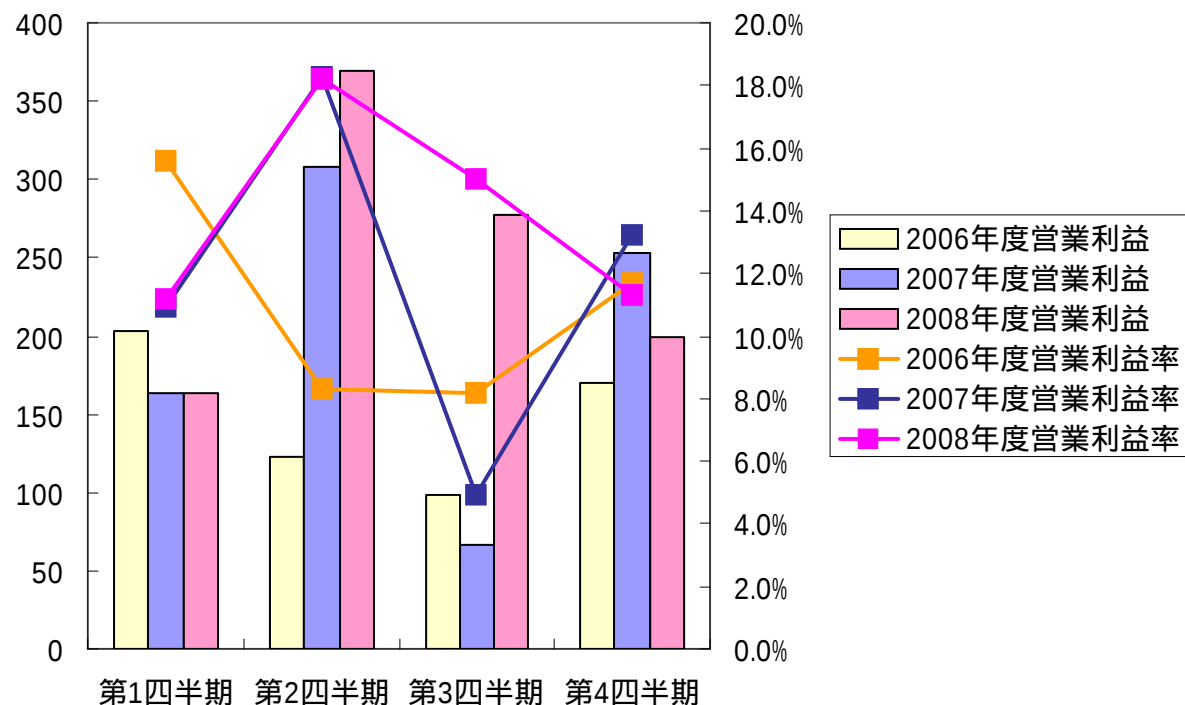
(百万円)

□ 2006年度売上高 □ 2007年度売上高 □ 2008年度売上高



(注) 2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。

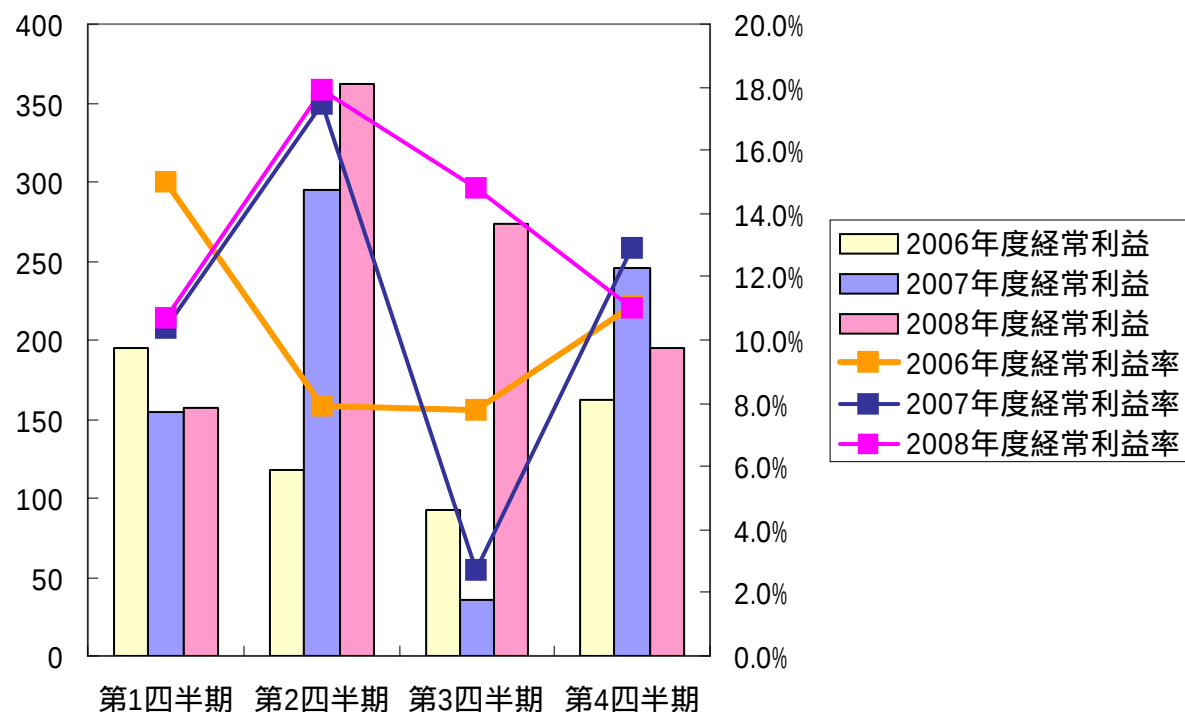
営業利益(四半期別推移)



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2006年度営業利益	203	123	99	170
2006年度営業利益率	15.6%	8.3%	8.2%	11.7%
2007年度営業利益	163	308	67	253
2007年度営業利益率	10.9%	18.3%	4.9%	13.2%
2008年度営業利益	163	369	277	200
2008年度営業利益率	11.2%	18.2%	15.0%	11.4%

(注) 2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 8/23

経常利益(四半期別推移)



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2006年度経常利益	195	118	93	162
2006年度経常利益率	15.0%	7.9%	7.8%	11.1%
2007年度経常利益	155	295	36	246
2007年度経常利益率	10.4%	17.5%	2.7%	12.9%
2008年度経常利益	157	362	274	195
2008年度経常利益率	10.7%	17.9%	14.8%	11.1%

(注) 2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 9/23

原価率・販管費・株主資本比率

	2007年度 中間期	2007年度 通期	2008年度 中間期	2008年度 通期
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	72.7% 2,316	74.7% 4,834	72.3% 2,522	71.7% 5,096
販売管理費率 (下段は販売管理費: 百万円)	12.5% 397	13.0% 844	12.5% 435	14.1% 999
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	39.3% 1,398	60.2% 2,210	64.0% 2,450	70.1% 2,665

- 売上高原価率 複数ロット受注・好採算機受注の増加により工数削減し、原価圧縮。
- 販売管理費率 大規模展示会・研究開発費用(本体設計・ソフト開発)の増加
- 株主資本比率 利益蓄積し、株主資本比率は目標の70%台に到達。今後は、新工場建設により比率は一時低下の見通し。

貸借対照表 (B / S)

(百万円)	2007年度	2008年度		(百万円)	2007年度	2008年度	
	3月31日実績	3月31日実績	増減		3月31日実績	3月31日実績	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	3,100	3,173	73	流動負債	1,462	1,126	▲ 336
現金及び預金	367	1,266	899	買掛金	250	48	▲ 202
売掛金	1,694	1,064	▲ 630	短期借入金	696	498	▲ 198
棚卸資産	922	705	▲ 217				
その他	117	138	21	その他流動負債	516	580	64
固定資産	572	630	58	固定負債	-	5	5
建物・構築物	76	85	9	長期借入金	-	-	-
機械・設備	91	111	20	その他固定負債	-	5	5
土地	355	357	2	純資産	2,210	2,673	463
無形固定資産	17	44	27	株主資本	2,210	2,665	455
投資その他資産	33	32	▲ 1	新株予約権	-	8	8
資産合計	3,672	3,804	132	負債純資産合計	3,672	3,804	132

■ 利益の蓄積・売掛金の現金化・在庫の圧縮・仕入の調整が進む

キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:百万円)	2007年度 通期	2008年度 第1四半期	2008年度 中間期	2008年度 第3四半期	2008年度 通期
営業活動によるCF	89	203	298	706	1,293
投資活動によるCF	▲ 91	▲ 16	▲ 116	▲ 85	▲ 150
財務活動によるCF	▲ 178	▲ 138	▲ 249	▲ 249	▲ 301
現金および同等物の増減額	▲ 180	47	▲ 67	370	842
現金および同等物の期首残高	480	299	299	299	299
現金および同等物の期末残高	299	347	232	670	1,141

- 営業活動 売上債権回収・在庫調整がすすみ、キャッシュフロー充実
- 財務活動 借入金は現状水準を維持。自己株式を取得。

回転期間・株主資本比率

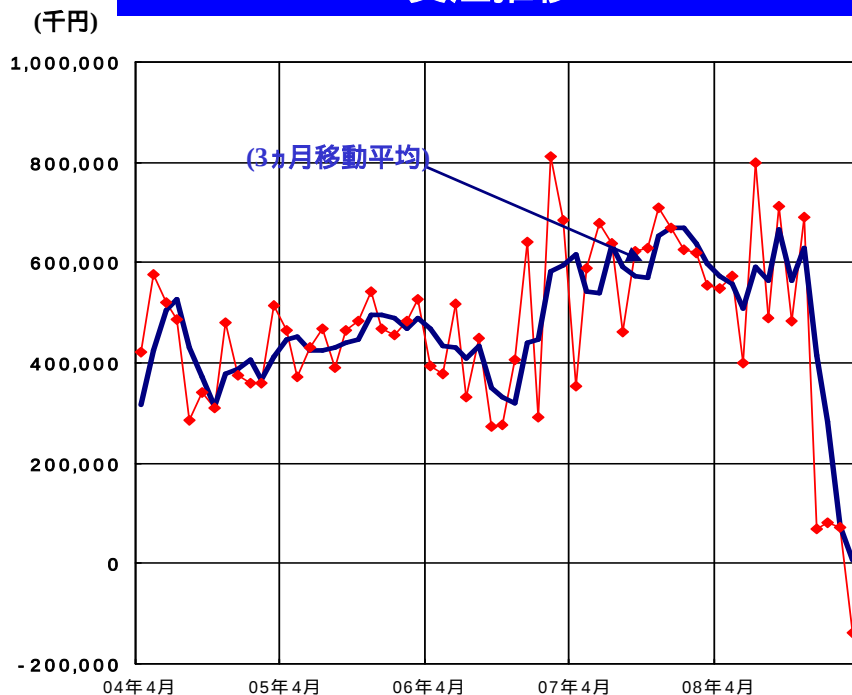
	2007年度	2008年度	
	通期	通期	増減
売上債権回転期間	3.14	1.80	▲ 1.34 ヶ月
棚卸資産回転期間	1.71	1.19	▲ 0.52 ヶ月
仕入債務回転期間	0.46	0.08	▲ 0.38 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	0.97	0.94	▲ 0.03 ヶ月
借入金回転期間	1.29	0.84	▲ 0.45 ヶ月
株主資本比率	60.2%	70.1%	+9.9 %ポイント

- 売上債権の回収・仕入調整が進む。
- 借入金は現状を維持。
- 株主資本比率はターゲットの70%に到達。不況時の変事抵抗力が向上。

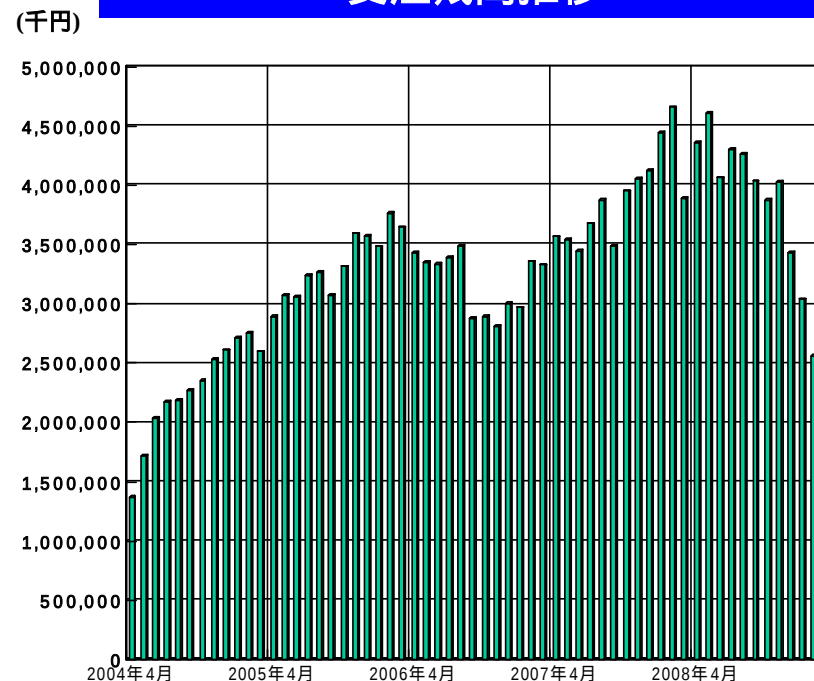
受注状況

受注高・受注残高の推移

受注推移



受注残高推移

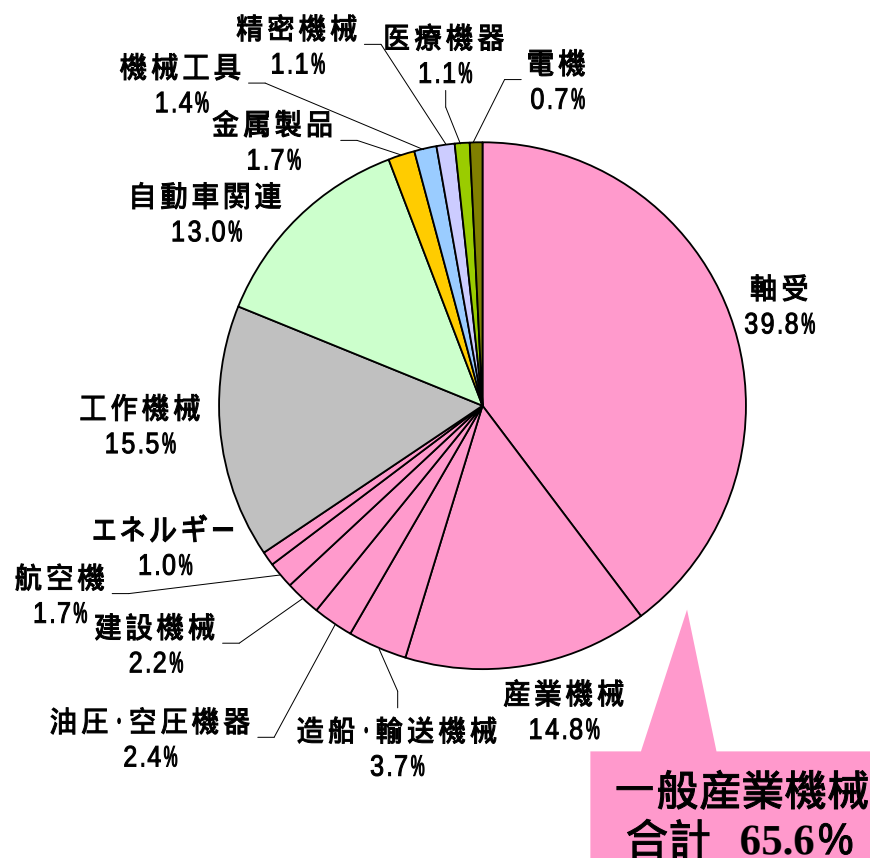


累計受注額 48億円
第4四半期以降に大きく失速。

期末受注残高 17億円
受注残の消化が進む。

顧客業種別受注

2008年度 業種別受注



■ 軸受
前期に引き続き大手企業を中心に堅調な受注を確保。

■ 自動車関連・産業機械
設備投資減少基調にありながら中堅～大企業を中心に受注確保。

■ 工作機械
機械の大型化に伴う需要は堅調に推移。

ただし、第4四半期以降には、各社とも投資計画の見直しをする等現在は一時様子見の状況が続く。

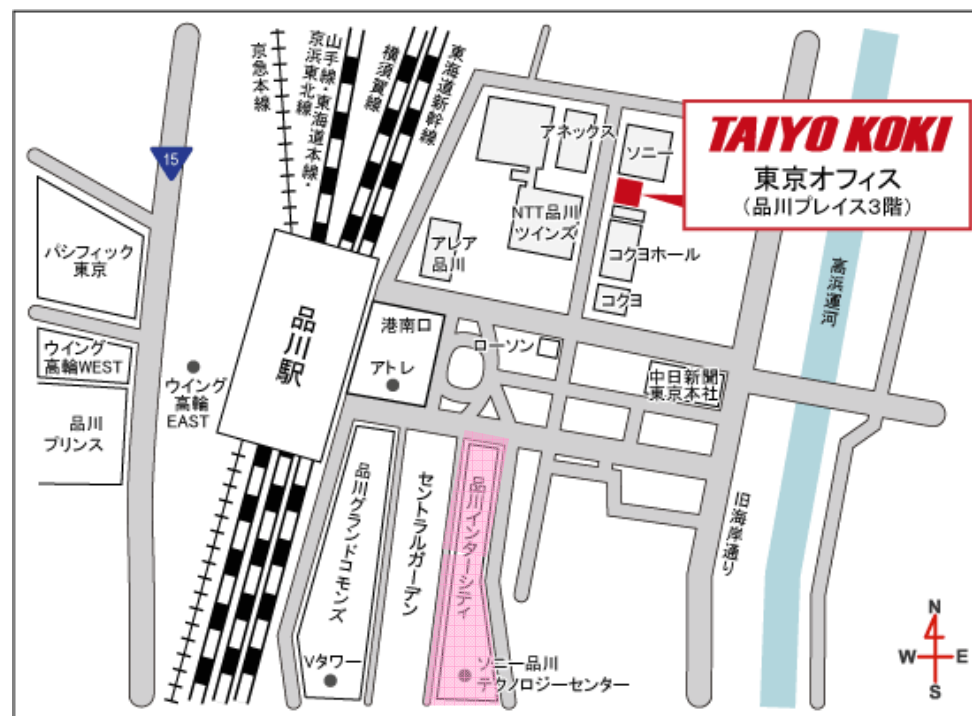
トピックス

新工場建設の進捗状況



- 大型機械組立のための新工場は5/11竣工予定。
今後の景気回復期における需要を取り込むための重要設備。

東京エリア拠点の移転



- 東京エリアの拠点として、現東部営業所(江東区 永代)から品川(旧 森精機製作所東京TC)へ移転し、「東京オフィス」と名称変更。
- 商社・ユーザーに対して当社製品技術のセミナーを行うなど、営業展開の拠点として活用していく。

今後の展開

今期の見通し

	2008年度	2009年度			
	通期 実績	上半期 計画	下半期 計画	通期 計画	対前期比
(百万円)					
売上高	7,106	1,400	2,100	3,500	50.7 %減
営業利益	1,010	▲ 690	▲ 350	▲ 1,040	—
(売上高比率)	14.2%	—	—	—	—
経常利益	990	▲ 720	▲ 380	▲ 1,100	—
(売上高比率)	13.9%	—	—	—	—
税引前利益	991	—	—	—	—
当期利益	554	▲ 720	▲ 380	▲ 1,100	—

今後の展開

営業展開

■海外マーケット開拓

- ・ **北米市場** シカゴ駐在のエンジニアを中心に当社技術の普及を図る。
- ・ **アジア市場** 中国・インド地域をターゲットに建機・エネルギーに攻勢。
- ・ **欧州市場** 欧州市場への展開。

■国内営業力の強化

- ・ 製品説明会の実施など、商社との連携を強化し、国内の引合を受注に結実。
- ・ 重厚長大・エネルギー・造船・建機など有力マーケットでの提案型営業に注力。

製品開発

■新規市場に向けた製品開発

- ・ **大型機へのシフト**: 2m超クラスの大型立形研削盤(NVGH)のシリーズ化
- ・ 主力製品NVGシリーズの基本仕様を見直し、**顧客ニーズを満たす価格設定**により、立形複合研削盤の市場拡大を図る。

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>